

「お茶大インデックス」を用いた教育研究機関の雇用環境評価 2011 年度 結果

「お茶大インデックス」を用いた教育研究機関の雇用環境評価を実施した。調査概要は以下の通り。

調査実施日：2011 年 12 月 9 日（金）～2012 年 1 月 20 日（金）
 調査方法：Excel で回答可能な「お茶大インデックス」をメールにて送付・回収
 配布機関数：科学技術振興調整費・女性研究者支援モデル育成事業（2006～2010 年度）採択 55 機関、
 及び女性研究者研究活動支援事業選定（2011 年度）10 機関の計 65 機関
 回収数：32 機関（回収率 49.2%）

【調査結果】 お茶大インデックス評価結果 32 機関の回答割合

32 機関のお茶大インデックス評価結果について、50 項目それぞれに平均値と回答割合を算出した。回答割合を用いて図 1 を作成した。

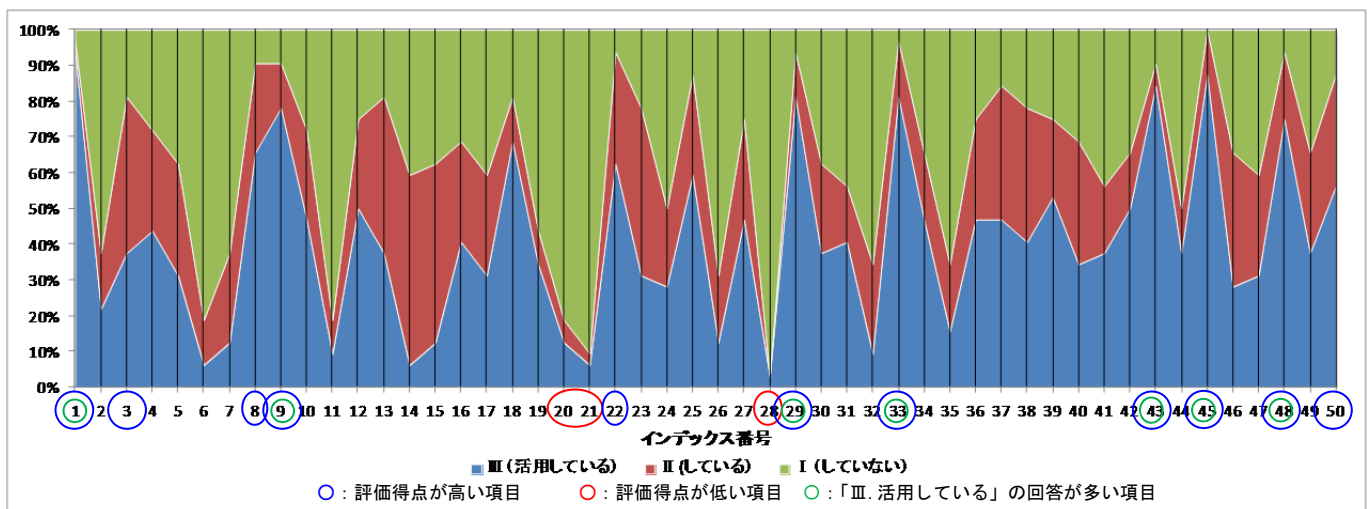


図 1.お茶大インデックス評価結果（全 32 機関、回答割合）

33 機関における実施度の高い取組（Ⅲ.活用している、Ⅱ.している）、低い取組（Ⅰ.していない）、活用度の高い取組（『Ⅲ.活用している』の回答が多い項目）は以下の通り。（カッコはインデックス番号を示す）

実施度の高い取組

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| (1) 女性研究者を支援する組織の設置 | (29) 子育て中の女性研究者を支援するための研究補助者の配置 |
| (3) 公正で透明性の高い公募を行うためのシステムの導入 | (33) ホームページによる情報発信 |
| (8) 女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握 | (43) 全職員向け女性研究者を支援するための情報発信 |
| (9) 子育てを支援するための予算の配分 | (45) ハラスメントを防止するための取組 |
| (22) 育児期における柔軟な勤務体制の導入 | (48) 男女共同参画に対する意識啓発 |
| | (50) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発 |

実施度の低い取組

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| (20) 学童保育施設の設置 | (28) 学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制度の導入 |
| (21) 子育てを支援するための学内宿泊施設の整備 | |

活用度の高い取組

- | | |
|---------------------------------|--|
| (1) 女性研究者を支援する組織の設置 | (43) 全職員向け女性研究者を支援するための情報発信（メール・新聞・掲示） |
| (9) 子育てを支援するための予算の配分 | |
| (29) 子育て中の女性研究者を支援するための研究補助者の配置 | (45) ハラスメントを防止するための取組 |
| (33) ホームページによる情報発信 | (48) 男女共同参画に対する意識啓発 |

実施度の高い取組は「支援組織の設置」、「透明性の高い公募システムの導入」、「女性比率の把握」、「予算配分」、「柔軟な勤務体制の導入」、「研究補助者の配置」、「情報発信」、「意識啓発」であった。

一方、実施度の低い取組は「学童保育」、「宿泊施設」、「奨学金制度」であり、人材、費用、設置場所等が必要な取組は整備が困難であることがわかる。

「Ⅲ.活用している」の回答が多くみられたのは、「支援組織の設置」、「予算配分」、「研究補助者の配置」、「情報発信」、「意識啓発」であり、これらは導入後に有効に活用されていることがわかる。昨年度の結果と比較すると、全体的に「Ⅲ.活用している」の回答割合は増加しており、特にインデックス番号（9）、（29）、（33）、（43）、（48）は大幅に増加した。これらの取組は女性研究者支援として特に効果が高いことが伺える。

上記の結果から、教育研究機関における女性研究者支援として、①支援組織を設置、②予算配分や研究補助者を配置、③機関内で所有する情報（女性比率等）を整理して積極的に機関内外に発信、④意識啓発を実施していることがわかった。

【調査結果】 お茶大インデックス評価結果 評価得点 上位 10 機関・下位 10 機関の特徴

32 機関のうち、インデックスの評価得点上位 10 機関（70.7 点/100 点中）の回答割合を用いて図 2 を作成し、評価得点下位 10 機関（32.2 点/100 点中）の回答割合を用いて図 3 を作成した。

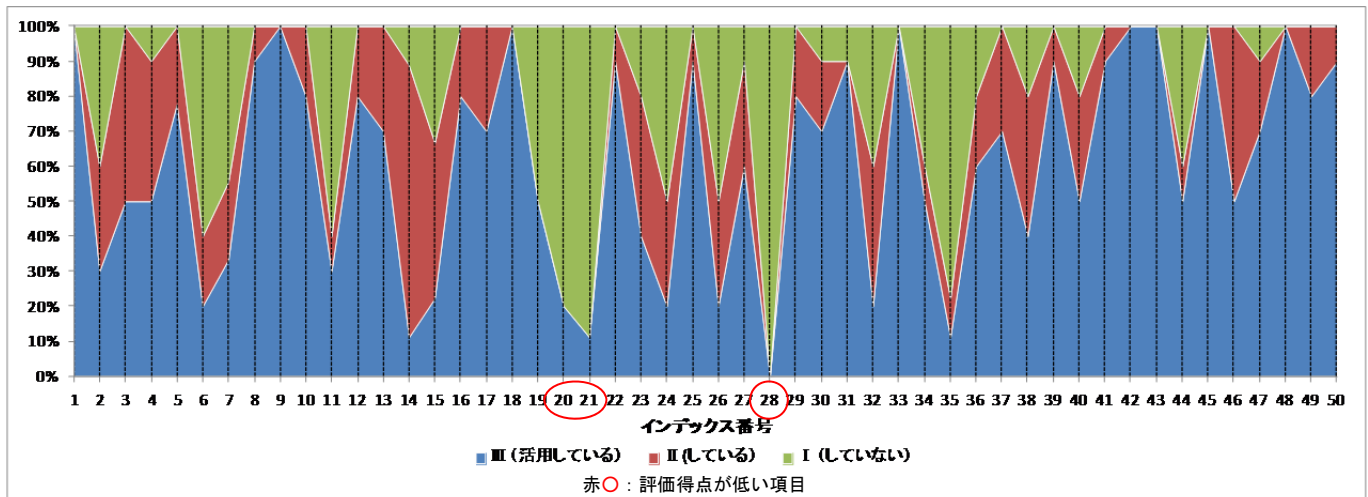


図 2. お茶大インデックス評価結果 （得点上位 10 機関）

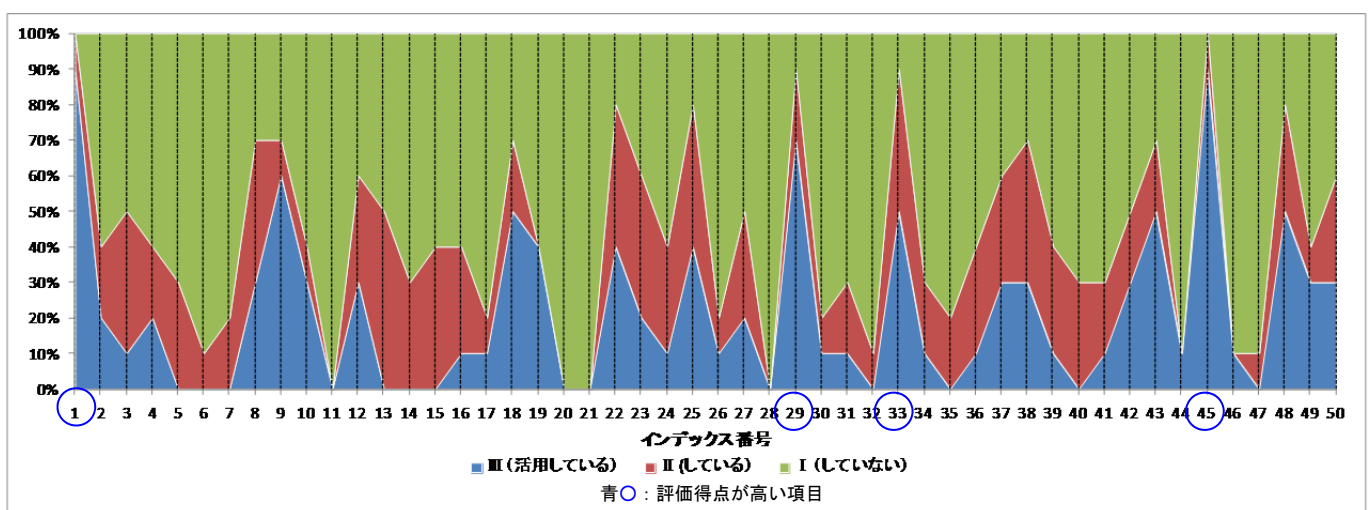


図 3. お茶大インデックス評価結果 （得点下位 10 機関）

図 2 から、得点上位 10 機関においても（20）学童保育施設の設置、（21）子育てを支援するための学内宿泊施設の整備、（28）学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制度の導入は「していない」の回答が多く、支援体制が整備されている機関においても実施が困難であることが伺える。

一方、図3を見ると、得点下位10機関においてもインデックス番号(1)、(29)、(33)、(45)など、「女性研究者を支援する組織」や「研究補助者の配置」、「ホームページによる情報発信」、「ハラスメント防止」の得点は高く、これらは比較的实施しやすい、もしくは女性研究者支援の初歩的な取組として実施されていることが窺える。また、インデックス番号(9)、(19)、(29)、(43)、(45)、(48)は昨年度と比較して「Ⅲ.活用している」の回答割合の伸び率が高くなった。

なお、評価得点上位10機関のうち6割は2006年度、2007年度採択機関であり、評価得点下位10機関の半数が平成23年度採択機関であった。また、2008年度～2010年度採択機関は平均点付近に位置していることから、3年程度で雇用環境はおおよそ整備され、事業終了後も継続・発展することでさらに充実した支援活動が実施できると推察できる。

女性研究者支援モデル育成事業が開始されて5年が経過したが、今回の調査結果から、教育研究機関において徐々に女性が働きやすい雇用環境が整備されつつある現状を明らかにすることができた。

【付録】 お茶大インデックス評価結果 総合得点一覧

お茶大インデックスの評価結果(表1)を総合得点の降順に示す。総合得点の平均点は52.9点、最高点は80点、最低点は15点であった。

表1 お茶大インデックス 評価結果 (総合得点降順)

ID	「お茶大インデックス」得点							
	総合得点	1.全学的な支援体制		2.女性研究者支援		3.情報支援	4.意識啓発	
		組 織	勤務体制	子育て支援	研究教育支援	情報支援	次世代育成の取組	意識啓発の取組
最高点	100	18	12	12	22	12	8	16
2011_006	80	14	8	7	18	9	8	16
2011_030	76	9	10	10	17	8	8	14
2011_008	73	12	9	8	13	9	8	14
2011_029	72	14	8	6	15	7	7	15
2011_024	71	16	8	6	13	8	6	14
2011_012	70	12	7	9	14	7	8	13
2011_017	68	13	9	6	11	6	7	16
2011_021	66	14	7	6	13	9	6	11
2011_026	66	13	8	6	13	8	6	12
2011_028	65	12	5	8	12	7	7	14
お茶の水女子大学	62	12	8	7	12	8	6	9
2011_005	62	11	7	8	13	8	2	13
2011_018	60	9	5	7	10	10	5	14
2011_004	58	8	5	2	12	12	8	11
2011_009	57	13	2	4	14	7	6	11
2011_027	57	9	3	4	15	9	4	13
2011_010	56	12	5	5	12	9	2	11
2011_011	56	11	7	2	14	10	3	9
2011_025	48	10	5	5	10	8	2	8
2011_031	48	10	8	3	2	8	4	13
2011_019	46	7	4	2	9	9	4	11
2011_020	46	6	4	3	12	8	4	9
2011_013	44	5	6	5	9	6	3	10
2011_003	42	10	5	1	11	7	1	7
2011_015	41	14	6	1	5	3	4	8
2011_022	39	7	4	2	8	8	0	10
2011_002	35	6	2	4	6	3	4	10
2011_023	35	8	1	2	12	6	2	4
2011_001	33	6	1	4	5	5	5	7
2011_016	21	6	1	4	4	3	0	3
2011_014	17	2	1	2	8	1	1	2
2011_007	15	2	1	3	3	2	0	4

謝辞：本調査を実施するにあたり、多くの皆様にご協力を賜りました。心より感謝の意を表します。